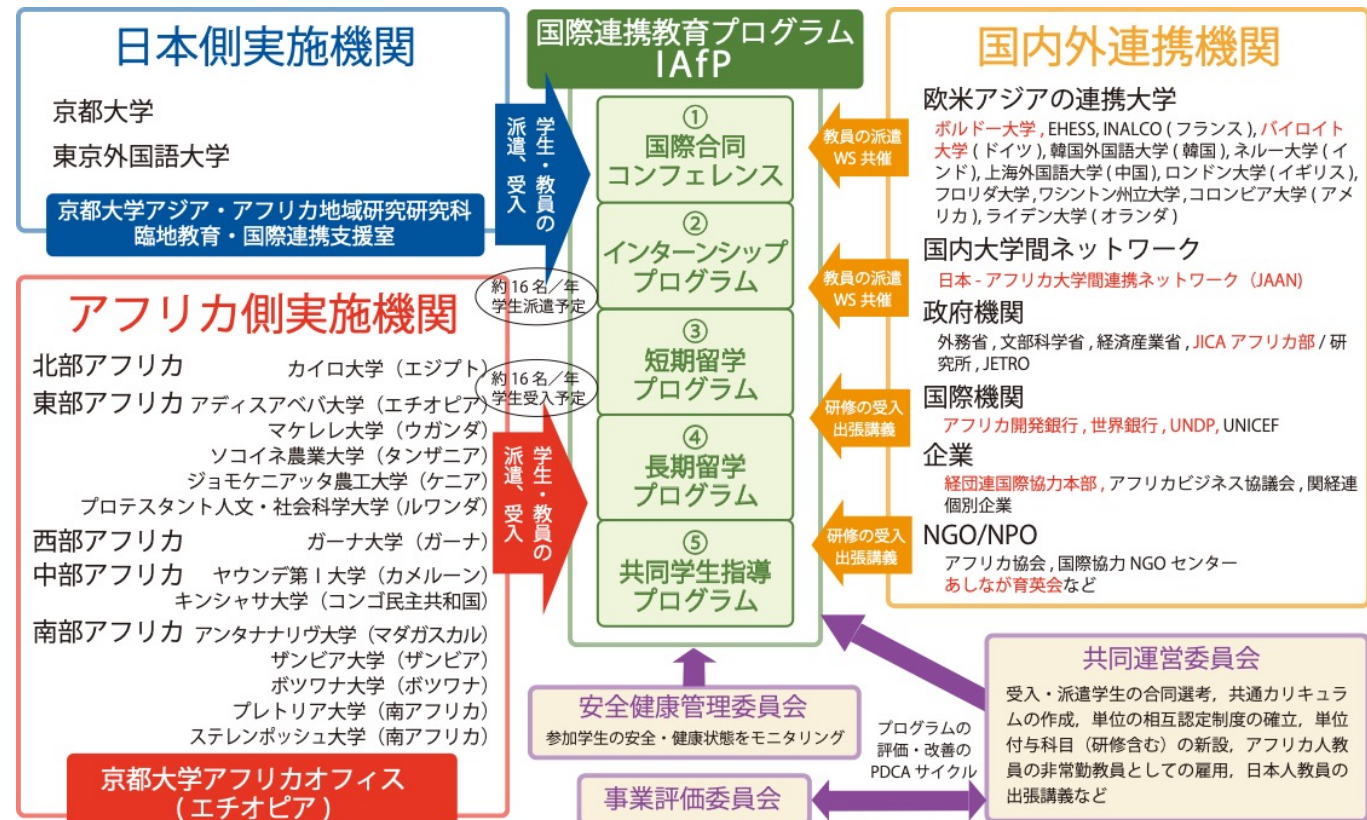


## 【事業の名称】(選定年度2020年度・(タイプB))

アフリカにおけるSDGsに向けた高度イノベーション人材育成のための国際連携教育プログラム

## 【交流推進事業の概要】

本事業は、既往のアフリカ研究の蓄積を活用するとともに、文系・理系の枠を超えたカリキュラムを提供し、アフリカでのフィールドワーク、日本及びアフリカでの研修を通じてイノベーション共創の基盤を構築することを目的とする。



## 【交流プログラムの概要】

以下の5つのプログラムを実施する、1. 日ア実施大学、欧米連携大学と共催する高度人材育成を目指した国際合同コンフェレンス、2. 学部/修士課程学生対象のアフリカでの集中講義と組み合わせたインターンシッププログラム、3. 学部/修士/博士課程学生を主対象とする双方向の短期留学プログラム、4. 学部/修士/博士課程学生を主対象とする双方向の長期留学プログラム、5. 博士課程学生を主対象とする学位取得を見据えた共同学生指導プログラム

## 【本事業で養成する人材像】

「持続可能な開発目標SDGs」の下、広く人びとを包摂し、危機や災害を乗り越える質の高い成長を達成するため、アフリカ各国・地域社会の固有性と在来知に通暁し、文系/理系、研究者/実務者の垣根を超えて、技術イノベーションと社会イノベーションの実現を主導し得る「超学際的」人材育成を目的とする。

## 【本事業の特徴】

アフリカで教育研究の実績を積み上げてきた京都大学と東京外国語大学がアフリカにおける連携大学14校と協力しながら、特に連携大学のうち3校を中心に据えて国際教育プログラムを実施する。

## 【交流予定人数】

		2020	2021	2022	2023	2024
派遣	実際に渡航する学生	0	6	8	8	8
	自国にて国際教育・交流プログラムをオンラインで受講する学生	0	6	8	8	8
受入	実際に渡航する学生	0	5	8	8	8
	自国にて国際教育・交流プログラムをオンラインで受講する学生	2	5	8	8	8

## 【事業名称】(選定年度2020年度・(タイプB))

アフリカにおけるSDGsに向けた高度イノベーション人材育成のためのプラットフォーム構築プログラム

## 【プラットフォーム構築の概要】

持続可能な開発目標(SDGs)を推し進める多様な分野の高度イノベーション人材育成のために、日本及びアフリカの大学間ネットワーク、またアフリカに関わる日本の大学と実務組織の幅広い教育連携を推進するプラットフォームを構築する。

### 5つのプラットフォーム構築プログラム

① 日本のアフリカに関わる大学間教育連携国内ネットワークの形成

② アフリカ及び日本の大学間教育交流ネットワークの形成

③ アフリカに関わる実務機関と大学をつなぐ協力枠組の形成

④ アフリカの大学における教育の状況に関する情報プラットフォームの構築

⑤ 安全健康、生活及び危機管理の情報プラットフォームの構築

#### 日本とアフリカの大学間国際教育連携の加速

- ・アフリカの重要な国・地域との関係強化、国民間の相互理解促進

#### 企業等との連携による人材育成と活用

- ・日本とアフリカの双方を熟知した高度専門人材の育成
- ・高度専門人材の活躍による日・ア、及び世界の持続可能な開発への貢献
- ・企業など実務機関の日・ア協力への貢献

#### 国際協力機関等での就職を希望する学生

- ・世界と日本の持続可能な開発に貢献するグローバルな高度専門人材の活躍



## 【具体的な計画内容】

### 1. 日本のアフリカに関わる大学間教育連携国内ネットワークの形成

- ・日本アフリカ大学世界展開力強化事業国内会議: 本世界展開力強化事業選定大学と開催。日本-アフリカ間教育交流のモデルケースを創出・発信。
- ・日本アフリカ高度人材育成国内大学ネットワーク: 本事業選定大学+アフリカ教育交流に意欲・関心を持つ国内大学と形成。教育連携を助言・支援。

### 2. アフリカ及び日本の大学間教育交流ネットワークの形成

- ・アフリカ・日本大学教育交流ミーティング: アフリカの各地域の主要大学 + 国内大学ネットワークと開催。アフリカの各地域の主要な大学と日本の諸大学の間の教育交流を推進。

### 3. アフリカに関わる実務機関と大学をつなぐ協力枠組の形成

- ・日本アフリカ高度専門人材育成支援委員会: 政府諸官庁、在日アフリカ外交関係者、経済団体・企業、国際協力機関、NGO・NPO、外部有識者と組織。各機関・団体から助言・支援。
- ・アフリカ実務組織・大学交流会: アフリカに関わる企業・NGO等実務組織 + 国内大学ネットワークと開催。双方への留学生のキャリア形成の参考事例を収集し、発信。

### 4. アフリカの大学における教育の状況に関する情報プラットフォームの構築

アフリカの諸大学における教育、留学生受入、輩出人材、留学希望などの情報収集と体系的整理・データベース化。

### 5. 安全健康、生活及び危機管理の情報プラットフォームの構築

心身の安全と健康のために、アフリカ各国及び日本の治安・感染症、保健医療施設、関係法令に関する情報を収集・体系化・データベース化。

## 【本事業の特徴】

日本とアフリカ諸国間の大学間教育交流は未だ限られている背景には、日本の大学間連携が十分でなく、日本・アフリカ相互の大学の情報共有も限られているとともに、学生・教員にとり、双方の地域への留学とそれを通じたキャリア形成に有益な情報が得にくいことがある。本事業では、アフリカで教育研究の実績を積み上げてきた京都大学と東京外国語大学が、本世界展開力強化事業選定大学をはじめとする日本の諸大学の間、アフリカと日本の諸大学の間、及び日本の大学と関係諸実務組織の間のネットワーキングを進めるとともに、アフリカとの交流を目指す大学に役立つ情報を体系化し、それを共有・公開し、交流の基盤を整備する。